

2021年3月期 第1四半期  
決算説明資料

2020年8月11日

# 2021年3月期 第1四半期決算の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位:億円)

## <前年同期比での主な差異要因>

### 〔売上収益〕

建設関連が増収となるも、機能製品が減収となり、合わせて減収。

### 〔セグメント別営業利益〕

機能樹脂を中心に機能製品セグメントが減益。

### 〔営業利益〕

前期にあった割安購入益がなく、減益。

### 〔親会社四半期利益〕

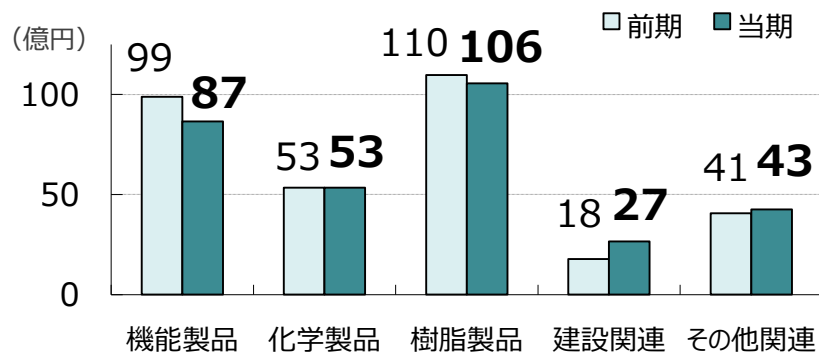
税引前四半期利益の減少により、減益。

	2020年 3月期 1Q	2021年 3月期 1Q	増減額	率
売上収益	320	<b>315</b>	-6	(-1.7%)
セグメント別営業利益	31	<b>25</b>	-6	(-18.6%)
営業利益	45	<b>25</b>	-20	(-44.7%)
税引前四半期利益	46	<b>28</b>	-17	(-38.2%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	38	<b>20</b>	-18	(-46.2%)

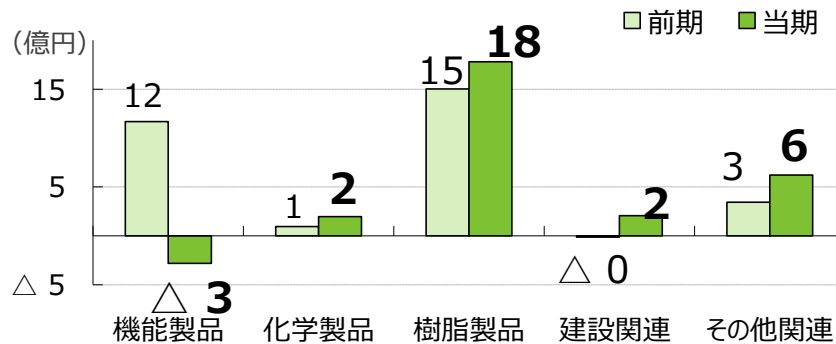
※…昨年8月に開示した2020年3月期第1四半期の実績は、同第2四半期に確定した新規連結に伴う割安購入益の金額に合わせ修正しています。

## <セグメント別前年同期比較>

### 【売上収益】



### 【セグメント別営業利益】



# 2021年3月期 第1四半期決算の概要 (2)

株式会社クレハ

## 2020年3月期1Q 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	99	53	110	18	41	320
セグメント別営業利益	12	1	15	-0	3	31
調整						0
その他の収益(+)						16
その他の費用(-)						2
営業利益						45
金融収益(+)						3
金融費用(-)						2
税引前四半期利益						46
親会社四半期利益						38

(単位：億円)

… 新規連結に伴う割安購入益 15億円

## 2021年3月期1Q 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	87	53	106	27	43	315
セグメント別営業利益	-3	2	18	2	6	25
調整						0
その他の収益(+)						1
その他の費用(-)						1
営業利益						25
金融収益(+)						4
金融費用(-)						0
税引前四半期利益						28
親会社四半期利益						20

(単位：億円)

**KUREHA**

(単位：億円)

	2020年	2021年	増減 額 率	
	3月期	3月期		
	1Q	1Q		
機能樹脂	64	<b>50</b>	-14	-22%
炭素製品	15	<b>14</b>	-2	-11%
その他	20	<b>23</b>	4	18%
<b>売上収益</b>	99	<b>87</b>	-12	-12%
<b>営業利益</b>	12	<b>-3</b>	-14	-

<前期比> 減収 ↓ 減益 ↓

## 機能樹脂

LiBバインダー向けPVDF、PPS樹脂、  
シェールオイル・ガス掘削用途向けPGA  
樹脂加工品の売上が減少し、減益。

## 炭素製品

高温炉用断熱材向け炭素繊維の売  
上が減少し、減益。

(単位：億円)

	2020年	2021年	増減 額 率	
	3月期	3月期		
	1Q	1Q		
農薬	9	<b>14</b>	5	51%
医薬品	11	<b>11</b>	-0	-0%
工業薬品	17	<b>14</b>	-3	-20%
その他	16	<b>14</b>	-1	-8%
<b>売上収益</b>	53	<b>53</b>	0	0%
<b>営業利益</b>	1	<b>2</b>	1	108%

<前期比> 売上横ばい → 増益 ↑

## 医薬・農薬

慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上が前年同期並みとなるも、農業・園芸用殺菌剤の売上が増加し、合わせて増収・増益。

## 工業薬品

無機および有機薬品類の売上が減少し、減収・減益。

(単位：億円)

	2020年	2021年	増減 額 率	
	3月期	3月期		
	1Q	1Q		
家庭用品	52	<b>54</b>	3	5%
釣糸	9	<b>10</b>	0	3%
業務用包材	36	<b>29</b>	-7	-20%
その他	12	<b>13</b>	0	2%
<b>売上収益</b>	110	<b>106</b>	-4	-4%
<b>営業利益</b>	15	<b>18</b>	3	18%

<前期比> 減収 ↓ 増益 ↑

## 家庭用品・釣糸

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、釣糸「シーガー」の売上が増加し、増収・増益。

## 業務用包材

熱収縮多層フィルム等の売上が減少、前年度にブローボトル事業（前1Q売上約5億円）の譲渡を行ったこともあり、減収・減益。

# 【建設・その他】セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	
	1Q	1Q	額	率

## 【建設関連】

建設関連事業	36	<b>43</b>	8	22%
連結売上消去	-18	<b>-17</b>	1	-
<b>売上収益</b>	18	<b>27</b>	9	50%
<b>営業利益</b>	-0	<b>2</b>	2	-

## 【その他関連】

環境事業	26	<b>29</b>	2	9%
運送事業	20	<b>19</b>	-1	-6%
病院事業	10	<b>9</b>	-1	-6%
その他	6	<b>6</b>	1	9%
連結売上消去	-21	<b>-21</b>	1	-
<b>売上収益</b>	41	<b>43</b>	2	5%
<b>営業利益</b>	3	<b>6</b>	3	80%

## 【建設関連】

<前期比> 増収 ↑ 黒字化 ↑

建築工事および土木工事の増加により増収、営業黒字化。

## 【その他関連】

<前期比> 増収 ↑ 増益 ↑

環境事業は、産業廃棄物処理の増加により、増収・増益。

運送事業は売上・利益ともに前年同期並み。

病院事業は売上が減少し、営業損失。

**KUREHA**

## 1. 資産の部

	2020年 3月末	2020年 6月末	増減
現金・現金同等物	73	<b>100</b>	27
営業・その他債権	283	<b>239</b>	-45
棚卸資産	382	<b>380</b>	-3
その他流動資産	52	<b>53</b>	1
<b>流動資産 計</b>	<b>790</b>	<b>771</b>	<b>-19</b>
有形固定資産	1,198	<b>1,193</b>	-4
無形固定資産	8	<b>9</b>	1
投資等	473	<b>492</b>	19
<b>非流動資産 計</b>	<b>1,679</b>	<b>1,695</b>	<b>16</b>
<b>資産 合計</b>	<b>2,469</b>	<b>2,466</b>	<b>-3</b>

## 2. 負債・資本の部

(単位：億円)

	2020年 3月末	2020年 6月末	増減
営業・その他債務	194	<b>177</b>	-17
有利子負債	373	<b>416</b>	43
引当金	78	<b>62</b>	-16
その他負債	157	<b>118</b>	-39
<b>負債 計</b>	<b>803</b>	<b>773</b>	<b>-29</b>
資本金	182	<b>182</b>	
資本剰余金	150	<b>150</b>	
自己株式	-87	<b>-87</b>	-0
利益剰余金	1,359	<b>1,380</b>	21
その他の資本	46	<b>52</b>	6
非支配株主持分	16	<b>16</b>	-0
<b>資本 計</b>	<b>1,666</b>	<b>1,693</b>	<b>27</b>
<b>負債・資本 合計</b>	<b>2,469</b>	<b>2,466</b>	<b>-3</b>



## <連結業績予想>

- 新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であることから、現時点では未定とします。
- 業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示します。
- 配当予想については、連結業績予想の公表時に発表予定です。

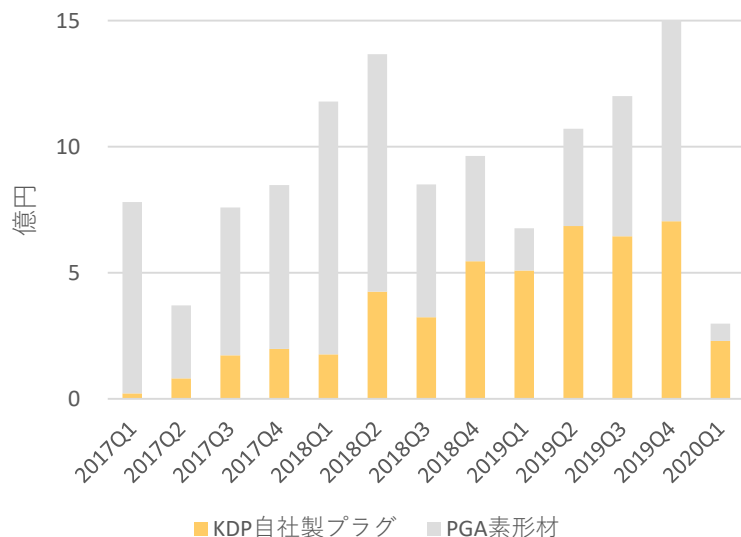
## <新型コロナウイルスによる主な事業への影響とリスク>

		第1四半期の状況	リスク（通期）
機能製品	PGA事業	原油価格の急落をきっかけに、米国のシェールオイル・ガス掘削が減少し、販売減少。	米国シェールオイル・ガス掘削市場は、原油価格の急落後、操業度が低下しており、コロナ禍により油価・シェール生産が回復しない場合、PGA樹脂加工品の販売低迷が見込まれる。
	PVDF事業	生産再開に備えた原料在庫確保のため、期初は堅調であったが、その後、顧客の在庫調整により販売減少。	リチウムイオン二次電池バインダー用途のPVDFは、車載用電池の在庫調整により販売拡大が遅れる可能性がある。
化学製品	農薬事業	重要な影響無し。	委託生産先に操業リスクが発生する可能性がある。
	工業薬品	顧客の生産活動低迷により販売減少。	販売先の裾野が広く、国内外の経済活動の停滞継続により販売不振が続く可能性がある。
樹脂製品	家庭用品事業	外出自粛に伴う内食化の傾向により販売増加。	生産および物流に操業リスクが発生する可能性がある。
	業務用包材事業	多層熱収縮フィルムは欧州での食肉生産低迷により販売減少。	欧州・豪州の食肉生産等の減少により、販売不振が続く可能性がある。
	建設・その他	重要な影響は無し。	国内経済活動の停滞により、建築工事の受注件数や廃棄物排出量が減少する可能性がある。

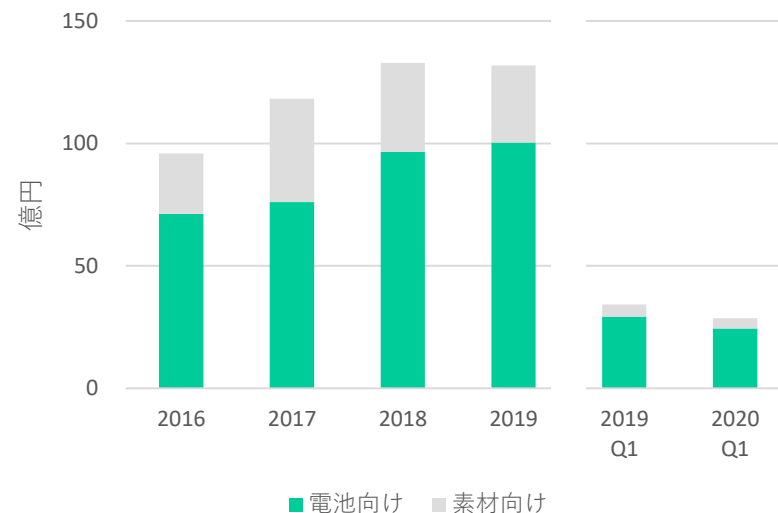
## <配当政策について>

当社は、利益の配分については、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備えること、および、安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としています。

## <PGA売上収益の推移>



## <PVDF売上収益の推移>



- 新型コロナウイルスの影響による経済活動の停滞とそれに伴う油価下落の影響により、市場環境は大きく変化。
- 新たに販売を計画する非PGA分解性フラックプラグは、コロナ禍によりフィールドテストは1Qから2Qに遅れ。
- 超低温の油井向けのPGA製フラックプラグは、来年度の上市を目標に現在開発中。

- 主要顧客の多くが今1Qより減産に入っており、受注状況を確認しながら、いわき工場では定修に合わせた生産調整を実施。
- 5月より中国常熟工場にて特殊ポリマーの生産を開始。
- 新型コロナウイルスの影響により、従来の市場予測に対して遅れはあるものの、自動車電動化の流れは変わらないものと見ており、需要増加に向けた対応を実施中。

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。